

みずほCustomer Desk Report 2025/03/13号(As of 2025/03/12)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	148.09
TKY 9:00AM	148.07	1.0915	161.60	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	149.20	1.0933	162.35	1.2945	0.6297
SYD-NY Low	147.78	1.0876	161.30	1.2990	0.6330
NY 5:00 PM	148.24	1.0888	161.50	1.2914	0.6277
				1.2960	0.6321
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	41,350.93	▲ 82.55	日本2年債	0.8400%	0.0100%
NASDAQ	17,648.45	212.45	日本10年債	1.5200%	0.0100%
S&P	5,599.30	27.23	米国2年債	3.9876%	0.0393%
日経平均	36,819.09	25.98	米国5年債	4.0725%	0.0343%
TOPIX	2,694.91	24.19	米国10年債	4.3153%	0.0344%
シゴ日経先物	37,105.00	575.00	独10年債	2.8865%	0.0145%
ロンドンFT	8,540.97	44.98	英10年債	4.7245%	0.0440%
DAX	22,676.41	347.64	豪10年債	4.4590%	0.0800%
ハンセン指数	23,600.31	▲ 181.83	USDJPY 1M Vol	11.00%	▲0.80%
上海総合	3,371.92	▲ 7.90	USDJPY 3M Vol	10.55%	▲0.45%
NY金	2,946.80	25.90	USDJPY 6M Vol	10.33%	▲0.29%
WTI	67.68	1.43	USDJPY 1M 25RR	▲1.42%	Yen Call Over
CRB指数	303.77	0.82	EURJPY 3M Vol	10.78%	▲0.40%
ドルインデックス	103.61	0.32	EURJPY 6M Vol	10.48%	▲0.37%

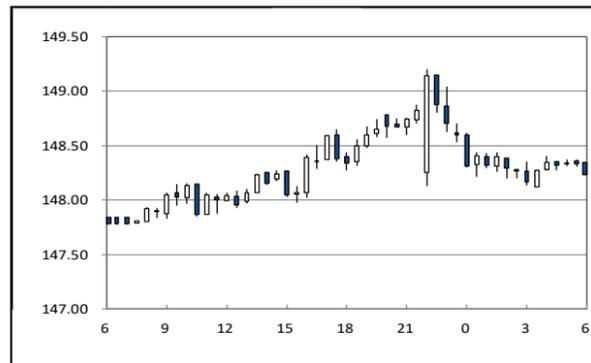
【昨日の指標等】

Date	Time	米	Event	結果	予想
3月12日	21:30	米	CPI(前月比)	2月 0.2%	0.3%
	21:30	米	CPI(前年比)	2月 2.8%	2.9%

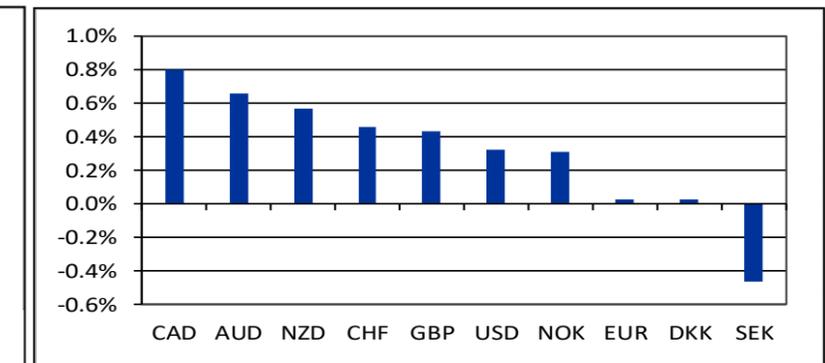
【本日の予定】

Date	Time	欧	米	Event	予想	前回
3月13日	19:00	欧		鉱工業生産(季調済/前月比)	1月 0.6%	-1.1%
	21:30	米		PPI(前月比)	2月 0.3%	0.4%
	21:30	米		PPI(前年比)	2月 3.3%	3.5%
	21:30	米		新規失業保険申請件数	8-Mar 225k	221K

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	147.50-149.00	1.0830-1.0980	160.50-162.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は序盤に148円台を回復すると、ドル買い優勢となり148円後半まで上昇。しかし米CPIが市場予想を下回ったことを受けて、瞬間的に148円前半まで急落するも、米金利や米株の上昇を背景にすぐに値を戻し、一時149.20まで上昇した。その後、EUとカナダが対米国への報復関税を発表すると、再び148円前半まで下落した。米CPIの伸びが鈍化したことを受けて、市場に一時的な安心感が広がったものの、依然としてトランプ米大統領による追加関税懸念は根強く残っているため、本日のドル円は上値重い展開を予想する。そんな中、本日は米PPIが公表予定。川上段階の物価統計ということで、直近の関税政策の影響を受けている可能性があることから、結果が上振れた場合のダウンサイドリスクには十分に警戒したい。

東京	東京時間のドル円は148.07レベルでスタートし、ジリジリと上昇する展開となった。前日に伝わったウクライナが停戦案を受け入れるとの期待感や、米国のカナダに対する追加関税の見送りなどから、リスクセンチメントが持ち直す中で、3/6以来の高値となる148.27まで上昇し、148.11レベルで海外へ渡った。
ロンドン	米国の鉄鋼・アルミ関税を受け、米金利が上昇していたことや米国のカナダに対する追加関税の見送ったことでリスクセンチメントの改善にドル円は上昇。148.74レベルでNY時間に渡った。
ニューヨーク	NY時間のドル円は148.74でオープン。朝方に発表された米2月CPI(前月比)が市場予想を下回り、米インフレが再加速していない結果を受け、発表後は148.13まで売られるも、その後149.20まで反発する等神経質な値動き。しかし、その後カナダが対米国への報復関税の発動を発表すると、リスク回避ムードが再度強まり、148.12まで円買いが進む。午後は148.30付近を中心とした上値重い推移が続き、148.24レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.09台前半でスタート。独金利の上昇を受け、1.0933まで上昇するも、その後のドル買い地合いが重しとなり、1.0901レベルでNYオープン。午前中は予想をした回った米CPIの結果を受け、ドル売りが優勢となり、1.0933まで上昇する。午後はドル売り一巡となり、1.0880付近まで反落。その後小幅反発し、1.0888レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。